

学びの灯

ようこそ、広島都市学園大学 子ども教育学部へ

子ども教育学部には、様々な研究をされている先生方がいらっしゃいます。

このページでは、毎月、一人一人の先生方の思いや考え方などを記していただき、読んだ皆さんの心や頭に「学びの灯」をともします。

一つ一つの「灯」は、いくつか集まると、きっと大きな明るさとなり、皆さんの未来を明るく照らすものとなるでしょう。

また、ある「灯」は皆さんの拠り所となって、どんなときであっても、希望と温かさを保ち続けてくれるでしょう。

さらに、皆さんが「新しい灯」をともし、多くの人々の未来を明るく照らすことに役立つことでしょう。

さあ、今月は、どんな灯でしょうか？



「広島車いすダンスくらぶ」と、バリアフリーな社会をめざして共に！

子ども教育学部 畠山 京子

市民に感動と希望を与えた団体等への「広島市民賞」、「広島車いすダンスくらぶ」受賞

平成 28 年度「広島市民賞」団体として、25 年ぶりに 7 回目のリーグ優勝を達成した広島東洋カープが「広島市民賞」を平成 28 年 11 月 4 日に受賞。本年 4 月に設立 20 周年を迎える「広島車いすダンスくらぶ」(以下くらぶと称す)は、車いすダンスの普及とダンスを通して、障がいのある人とない人の相互理解、障がい者の社会参加の促進、米国、中国等の親善訪問により国境を越えた障がい者理解促進の寄与等により、平成 29 年 2 月 8 日に「広島市民賞」を受賞されました。

私は平成 13 年 4 月から 4 年間、くらぶが活動される広島市中心身障害者福祉センター(以下センターと称す)に勤務し、日々のレッスン、又、例年、ひろしまフラワーフェスティバルのパレード、更に「マーガレットステージ」(ふれあい広場)へセンターから、車いすダンスをはじめ、太鼓クラブ、ジャズダンス等の出演に同行。センターで出合いを頂き大学勤務以降は、福祉施設等の訪問、中国(大連、青島、北京)、韓国(釜山、大邱)の海外公演に 6 回同行して、ボランティアとしてくらぶの皆様と活動を共にし、メンバーの多くは、仕事とくらぶの活動を両立させ、中断することなく活動を継続され、ここからの敬意と受賞のお祝いを申し上げます。

車いすダンスを通じて「バリアフリーな社会の創造」をめざす～国内、海外で感動を届ける～

平成 9 年 4 月に仲井サカエ会長が当時、看護師として勤務のセンターを活動場所としてセンター利用の方々に声かけして、くらぶは競技出場はめざさず、障がいの有無を問わず、バリアフリーの社会の実現をめざし、民謡、歌謡曲、映画音楽等の多様なダンス種目で、踊る人も観客も共に楽しめるような舞台をと、広島県内初の車いすダンスのくらぶとしてスタートしています。現在のメンバーは 30 人で、うち、障がいがある人は 15 人です。

毎年 5 月のフラワーフェスティバル、広島に夏を告げる浴衣祭り「とうかさ」、地域の学校、福祉施設、各地での無料講習会等のステージを年間約 40 回実施しています。

車いすダンスを通して国際交流の推進

更に米国、カナダ、韓国、中国等へ計 11 回の海外公演を行っています。仲井サカエ会長は海外公演について「障がいがある人々にとって広い世界に触れること、海外に旅する機会を得ることはなかなか困難であるのでくらぶで企画」と語り、訪問の国・地域では施設・学校訪問して相互交流と車いすダンス公演を実施し、常に相手先の市長に広島市長のメッセージを届け、市民の立場で国際親善と平和の使者として国際交流の推進を行っています。

同行した中国等のいずれの訪問国でも公演を終えると、会場出口で出演メンバーと観客との握手の列が続き、車いすダンスは国・言葉を越えて感動を届けていることを実感します。海外公演について、中途障がいのメンバーは「こうでないといけないと自分自身を苦

しめていたものが、海外をみることにより、『新たな出会いと感動がある』『ありのままがいいのかな』と思うようになった」と語っておられます。

40th ひろしまフラワーフェスティバルに子ども教育学科、看護学科で Vr 参加

平成 28 年 5 月 3 日 FF 初日に、「ふれあいマーガレット隊」(広島ふれあい委員会:200 名)のパレード、「マーガレットステージ」(ふれあい広場)に、くらぶの皆様と広島都市学園大学子ども教育学科、看護学科の学生・教員 22 名で、ボランティアとして車いすの介助等で参加しました。「マーガレットステージ」での舞台は赤、ピンク、紺、オレンジ、チロリアンドレスで身を包んで、車いすの車輪を繰り、輝く瞳と笑顔いっぱいの顔で「アナと雪の女王」「山のロザリア」バレエ「白鳥の湖」等でジャンルを超えたダンスを披露し、会場からは拍手大喝采でした。参加学生は、「車いすの介助をして、道路のほんの少しの勾配も操作が大変」「観客の方々が、パレードするくらぶメンバーに拍手・手拍子をして下さり、とてもうれしかった」「輝くひとみと笑顔のすばらしい舞台に感動」と初パレード等の感動を語っていました。

41th ひろしまフラワーフェスティバルのパレードにバリアフリーの社会をめざし共に！

3 年後の 2020 年には東京オリンピックが開催され、国においては「すべての人が支え合う共生社会の実現をめざす」ことが報じられています。

車いすダンスは障がいがある人と、立って踊る障がいのない人がペアを組んで「ともに」踊るもので、障がいのある人の理解、「心のバリアフリー」をめざすものです。車いすダンスのメンバーは「健康増進」更に「感動を届ける喜び」を語っておられます。キラキラ輝く舞台から、自分らしく自己を表現できるものを見いだされ、仲間を得て、日々充実した日々を過ごすことがどんなに大切か!と、思うものです。このことは障がい、年齢の有無等には係わらないのでは!と。

「広島市民賞」受賞を機に、「広島車いすダンスくらぶ」による更なる車いすダンスの普及、くらぶの更なる充実、発展を願うものです。来る 5 月の 41th ひろしまフラワーフェスティバルのパレード等に、学生の皆さんと共にバリアフリーな社会の実現をめざし、ボランティアとして平和大通りのパレードをともに歩ませて頂きたいと思えます。



「広島車いすダンスくらぶ」広島市民賞を祝う会 (H29.2.19)